

広 報

朝 来

あ さ ご

9

2021/September

NO.198

今月の主な内容

空き家を活用した移住施策	2
まちの話題	6
くらしの情報	8
健康コーナー	14
我がまち朝来再発見	16

あなたはまちの未来
ASAGOiNG



豊かで幸せな
 地域を目指して

今月の ASAGOiNG な人

にしがき しんたろう きたがわ しんいち
 西垣 真太郎さん・北川 慎一さん・(関連記事 19 ページ)



きたがわ しんいち
北川 慎一さん (生野新町区)
 主任介護支援専門員・介護福祉士

北川さんは、主任介護支援専門員・介護福祉士として「社会福祉法人きらくえん」に勤務している。令和2年に朝来市ケアマネジャー協会会長に就任し、市内ケアマネ42人と協力をしながら、介護を必要とする方がサービスを受けられるようにケアプランを作成し、介護事業者との調整などを行い、地域包括ケアシステムの枠組みの中で高齢者と家族や地域住民、専門職員をつなぐ架け橋として日々活躍されている。



にしがき しんたろう
西垣 真太郎さん (川尻区)
 介護福祉士

西垣さんは、「社会福祉法人きらくえん」に勤務する介護福祉士で、約10年前からリーダーを任されている。利用者に愛情ある態度で接するとともに、介助の負担を軽減し、どんな人でも働きやすい職場環境を整備するために居室や浴室へリフトを導入したことが評価され、令和2年には公益財団法人神戸新聞厚生事業団が創設した「第1回ひょうご 福祉の現場 若手リーダー賞」を受賞した。

2人がめざすもの

北川さんは、朝来市ケアマネジャー協会会長として、高齢者の利便性の向上や介護職員の地位向上などに取り組みほか、地域が抱える課題に対し行政とタイアップしながら解決を図っている。

西垣さんは、利用者が好きなのや大事にしているものなど、それぞれの背景を理解したうえで仕事をすることで、利用者やその家族に「この施設を利用して良かった」と思ってもらえるように心がけている。また、表彰を受けられたリフト導入だけではなく、「職員にとって働きやすい職場になるよう今後も改善を続けたい」と語った。

地域とのつながりを大切に

最近では新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る観点から、利用者が家族や地域住民と関わる機会が減少しているが、コロナ以前は毎月のように地域のお祭りなどのイベントに参加した。新型コロナウイルスの影響で改めて「たくさんの方に助けて頂いていることを実感した」と西垣さん。北川さんは「地域文化の継承や住民の幸せなど、地域にとって何が大切かを福祉の立場から考えたい」と語り、二人からは「地域とのつながりを大切にしていきたい」という熱い思いが伝わってきた。

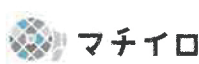
朝来市の旬な情報を、SNS やスマートフォンアプリで配信しています。下記QRコードを読み取りアクセスしてください。

facebook

市政や観光情報を市公式ページで発信中！



子育て情報を発信「あさごスマイルネット」



アプリをダウンロードすると広報誌が届きます！



市政情報を市公式アカウントで発信中！



編集後記

今月の広報紙では川尻区の移住者との関わり方についてまとめました。▶7月に行われた「泥りんピック」の取材の際、取材そっちのけでも皆さんと一緒に、どろんこになって遊び、イベント後は区民の皆さんとそうめんや有本さんお手製の韓国風巻きずしのキンパをいただきました。(たぶん私はそうめんを4杯くらいいただきました。食べすぎですかね…) ▶野山で遊んだあと、屋外で食べる食事は昔から大好きですが、コロナ禍で同様の交流が久々であったこと、川尻区の皆さんと話をしながらいただく食事が楽しかったこともあり、その日の食事は普段の何倍もおいしく感じました ▶移住施策において、自然環境などが移住者の希望に合っていることも大切な要素ですが、人と人とのつながりを大切にすることがもっとも重要な要素だなと感じました。◎